



卒業式も
終わった……

今度は
ぼくたちが
最高学年！

涙・涙・涙

花粉症の
季節
到来！

Ah！

二月二十四日、三年生も参加して開催された「ひらめき」全校大会。

今回の課題「RUNNING・紙Q」TAKARA TOMYに負けるな!」は少し難しかったせいか、臨時で時間を設けてやつと完成したクラスが多かったようです。競技ではたくさん走るクラスとあまり走らないクラスの差が大きかったように感じました。

結果は：・

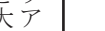
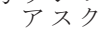
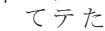
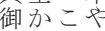
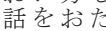
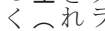
一位	十m五cm	インテリア科一年
二位	九m八cm	インテリア科二年
三位	八m一cm	機械システム科三年

一位、二位とインテリアが独占。圧倒的な距離でした。早速この三チームにインタビュー! 聞いたのは「①工夫したところ③車の名前②今の気持ち」の三つです。

インテリア科一年
①後輪を大きく
②「ビックリ!」
③ヤマシスターズ号
インテリア科二年
②井口号
③機械システム科三年
①頑張つて動力をつなげた
②メイド IN 坂本
③「坂本やったよ。」
さて、ここからです!とある先生から出された疑問により(御提案ありがとうございます!)(工業科の先生方お二人に理想のマシンを伺つてみました。お話を伺つたのは工業クラブで今大会を運営された建築科の西平先生(以下:西)とものづくりなどの取材で何かとお世話になつてゐる松尾和宏先生(以下:松)のお二人。

まず「優勝したマシンは何処が良かったから優勝したのか」一解答はどちらの先生も「タイヤの大きさ」と「ゴムの動力」とのこと。タイヤが大きいことで距離も伸び、なおかつ優勝したカーはタイヤをきちんと補

▼目指せ!10メートル!



理想のマシンが薄くて見え
なかった、また詳しく知り
たいという方は新聞部まで！
お忙しい中、インタビュ―

に答えてくださった西平先生
松尾先生ありがとうございました。

二月十日に課題研究発表会がありました。

三年生が長工生活の集大成を発揮するために取り組んだ課題研究を各科の代表が発表してくれました。

各科の代表ということもあり、レベルが高く、興味をひかれる内容でした。

発表が終わった後にいくつかの科に質問をしてみました。

「研究において工夫した点」とについては

―掃除、そして二一七八個の穴をあけたこと（D）

―計算とかが多かった（C）

「課題研究のテーマ決定の理由」



「自分たちでデザインした家具を作ってたかった」
 (I) 完成に要した時間は一時間！
 (D) 半年！
 (C) 「後輩に一言！堂々と喋ろう」
 (A) 自分のしたいこと(Ｃ)ちよ

- 【建築科】
社寺建築
- 【インテリア科】
オリジナル家具を作る
- 【電子工学科】
ホッケーボードの製作
- 【情報技術科】
PICマイコンを用いた
見守り機器の製作

築町電停前、九電イリス

インテリア科展

築町電停前、九電イリスビル一階にてインテリア科展が二月一七日から二三日まで開催されました。

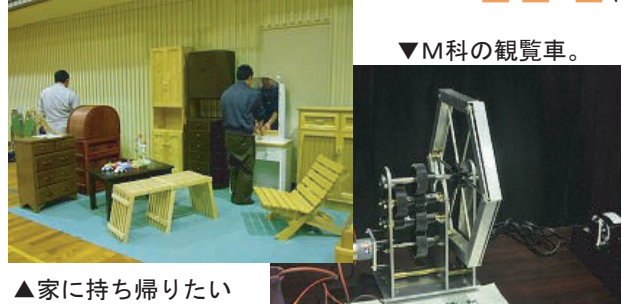
そこに突撃取材。「もう卒業したとに大変ねえ。」と言われる私。これまで新聞部でたくさん頑張りました！ありがとうございます！（泣）

さて、このインテリア科展。I科の生徒の作品がたくさん展示してあり、木の温もりを生かした作品や、建物の模型など、様々な作品が展示されていました。

そこで、係の生徒と花田先生にインタビューを行いました。

【生徒】

▼M科の観覧車。



▲家に持ち帰りたい
作品達。


 数えてみよう
 ぽかぽか
 ストープ編

今回の数えてみようはもうすぐしもうストープとヒーター。今回は灯油、ガス、電気に分けて数えました。ストープは全ての準備室にあり、実習室にもぽちぽちありましたが使われていない物がほとんどでした。きちんと処理した方がよいと思います。

数えてみて1番多かったのは…

灯油ストープ 四十五個

でした。その次は電気ストープで十三個でした。次に

灯油ストーブ

四十五個 でした。その次は電気ストーブで十三個でした。次にガスストーブで六個でした。

Q 三年間の思い出。
三年生になってからは課題研究で好きなことをできるから楽しかった。
【花田先生】

例年通りの良い出来。今年は一年生が電気工事士の資格取得のために作品を作る時間があまりなかったの
で作品数が少ない。
Q 生徒に一言。
一年間お疲れ様でした。
来年のインテリア科展で

▲ 素晴らしい、このデザインは、素敵な作品が展示されていることを願っています。

インタビュに答えてくださった花田先生、インテリア科の皆さんありがとうございました。

毎年毎年、各生徒の工夫を凝らした作品がたくさんあるインテリア科展。驚かされてばかりです。やはり三年生の作品は、三年間工業で学んできたことを活かに活かした素晴らしい作品ばかり。卒業するにあたっての輝かしい集大成だ。たと言えらると思います。

休みの日も返上し努力を積み重ねた作品の数々。と

編集 後記

でも充実感に溢れていました。来年のインテリア科展も素晴らしいものになるとも思います。まだインテリア科展に来た事の無い人は、是非来年足を運んでみてくださーい！

編集後記 今月号の新聞製作はあまり時間がなく、人数不足も強く影響したても

苦しい新聞作りになりました。新一年生の皆さんに期待しましょう。一、二、三月は立て続けに新聞発行、しかも卒業式終業式と絶対遅れられない厳しい環境でがんばりました。

この新聞部の編集と同時に転・退任される先生方のインタビューも続行中。

来月は、学年も上がり本格的に暖かい春がやってきます。急がず、あせらず、寝ぼけず、新聞部も頑張っていくます。

来月号にも期待！

▲卒業式の頃満開。
木蓮の花、
き～れ～い～だ～な～♪